

F2-7

スペイン・マドリッド美術館通りの博物館のバリアフリーに関する研究

A Study on Accessibility at Museums along Madrid's Museum Route, Spain

○藤原義斗¹, 大塚晴希², 植田瑞昌³, 田中賢³

*Yoshito Fujiwara¹, Haruki Otsuka², Mizuyo Ueda³, Yasushi Tanaka³

Abstract : A barrier-free survey was conducted on over 50 museums and art galleries in Madrid, Spain, based on guidebooks and websites. Approximately 15 museums were found to be actively pursuing barrier-free initiatives. These institutions frequently offered specialised tours for visitors with visual or hearing impairments. However, the survey noted a lack of tours for elderly people with dementia and limited consideration for other needs.

1. 研究の背景と目的

ICOM 国際博物館会議 (プラハ大会) 臨時総会 (令和4年8月)での新しい博物館定義^{*1}により、全ての人々の鑑賞の多様性が指摘されて我が国においても博物館での障がい者対応は変わりつつある。しかし、それは「バリアフリー法 (平成18年)」で特定建築物として「博物館、美術館又は図書館」での配慮が義務化されている範囲 (EV やスロープによる段差の解消やスペースの確保、多目的トイレの設置等) に留まっているのではないかと考えた。

そこで、本研究では、ユネスコ世界遺産に登録されたスペイン・マドリッド美術館通り (Paseo del Arte) でのバリアフリーの取り組みについて HP 調査を行い日本の博物館への示唆を求めることとする。

2. 研究の方法

スペイン・マドリッド美術館通りは、僅か2Km四方に50箇所以上の博物館・美術館がある。

この通りにある観光案内所でもらえるマドリッド・アクセシブル・ガイドブック (総頁数144頁、写真1、2、3) から究対象の博物館を次の2点で選定した。

①車いす用トイレの詳細な記載のある館。

②スロープについて詳細な記載のある館。

その結果、32館が抽出できた。これらの32館中の広場など建物ではないものを除いた計18館のHPについてバリアフリーに関する記載内容を分析する (表1)。

なお、日本ではバリアフリーデザインやユニバーサルデザインという表現がされるがEUの博物館では、これをアクセシブルと表現しているのが主流のため、HP調査ではアクセシブルとしている。

また、本研究では博物館法に則り博物館、美術館、天文台、植物園などを全て博物館として研究する。

3. 研究結果

3. -① ガイドブックの調査結果

車いす用トイレでは32施設のドア幅は平均81.3cm (標準偏差5.6cm、最小値73cm、最大値95cm)、トイレ内部の車いす回転スペースは平均146.3cm (標準偏差9.3cm、最小値110cm、最大値160cm)である。

3. -② HPの調査結果

上記32施設から障がい児・者向ガイドツアーを実施している全15カ所の博物館を抽出してHP調査を行っ



写真1 無料配布されるガイドブック
縦16cm×横12cmのコンパクトなガイドブック



写真2 ガイドブックの地図
市内の公共トイレやEVの位置、博物館・美術館の位置が示され、見学ルートを立て易い

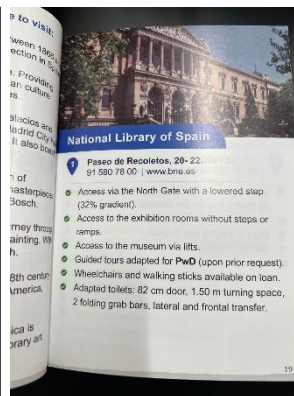


写真3 スペイン国立図書館の頁
住所・電話・URLに続きバリア状況が記載されている。

スペイン国立図書館の頁のバリア状況について
・低いステップ (32%の勾配) で北門を経由してアクセスする。
・エレベーターで博物館にアクセス可能。
・障がいに対応したガイド付きツアー (事前のリクエストに応じて)。
・車椅子と杖は貸し出し可能。
・トイレ: ドア幅82cm、回転スペース1.5m、横方向と正面の移動への可動手すり2つ。

1 : 日大理工・学部・まち 2 : 日大理工・院・まち 3 : 日大理工・教員・まち

た。結果の一覧を表1に示す。

障がい者専用ツアーは47%（7館/15館中）で実施している。うち6館は視覚障がい者向けの触察体験ツアーであった。アクセシブルマップは67%（10館/15館中）で用意されている。

身体障がいや聴覚障がい、視覚障がいは多くの館で対応をしている。一方で認知障がい対応は40%（6館/15館中）の実施率である。

アクセシブル情報までHPのトップ画面から何クリックで辿り着けるかを検討したところ、多くが2クリックで行き着くことができた。ただし、クリック数が少ないとスクロール量が多くなり一度に表示される情報量（認知の容易性）が多くなる。クリック数を増や

すと階層的に分かりやすく示されるが作業の手間（作業の容易性）に問題が生じる。認知と作業の関係性を考える必要性がある。

4. まとめ

年間来場者数の多い博物館はHP上に障がい別にアクセシブルサービス情報が詳しく掲載されている。ガイドツアーでは視覚障がい者、聴覚障がい者向けに注力している博物館が多い現状を捉えた。

参考文献

1) ICOM 日本委員会 HP「新しい博物館定義 (ICOM プラハ大会)」(最終閲覧 2023 年 9 月末)

<https://icomjapan.org/journal/2023/01/16/p-3188/>

表1 ス페인・マドリードの博物館のアクセシブル情報一覧

施設名	一般向けガイドツアー	障がい者専用ガイドツアー	障がい者ツアーの内容	ツアーの種類	アクセシブル館内マップ	アクセシブル情報まで	貸出し・アクセシブルサービス	身体障がい配慮	聴覚障がい配慮	視覚障がい配慮	認知障がい配慮
国立プラド美術館 (年間来場346万人)	手話付ガイドツアー(一般向けツアーで紹介) 言語訳付ガイドツアー(毎日10時半~17時まで最大29人/1グループ)	視覚障がい者専用	実際の作品を触察。凹凸付の触察用絵画を用いたツアー。	18種類 現在実施は2種類	有	1クリック	車いす、ベビーカー、手話・音声ガイド、磁気ループシステム、盲導犬の同伴可能	電子メールによる事前リクエストで駐車スペースの用意が可能。	機器利用で見ると手話ガイド。	無料オーディオガイド、磁気ループ対応	個人グループが事前連絡により職員が同伴の館内ガイドサービス。
ティッセー=ボルネッサ国立博物館 (年間来場95万人)	手話付ガイドツアー 言語訳付ガイドツアー 音声ガイド付ツアー バーチャルツアー	視覚障がい者専用	5つの触覚探索レリーフを用意。	216種類 現在実施は4種類	有	2クリック	車いす、電動車いす、杖、ベビーカー、盲導犬の同伴	スロープ等の車いす利用者が館内を移動できるための設備。	盲導犬と一緒に行動できる範囲が他の博物館と比べ広い。	磁気ループ等の貸出しにより、快適に展示物を見て回れる。	認知的障がい者のワークショップなどを実施。
ソフィア王妃芸術センター (年間来場154万人)	現在無し	視覚障がい者専用	触察作品・写真により視覚障がいの者対応。参加人数8名(視覚障がい者4人とその同伴者4人)。	現在実施は1種類	有	3クリック	磁気ループ、盲導犬・補助犬の同伴	公開エリアは車いすでアクセス可能。スロープ・障害者用トイレ、座席、クロークなどのサービスを用意。	盲導犬とスペイン手話や、聴覚ループなどの補助システムの使用で、ろう者が博物館を楽しむ。	視覚障害者や弱視の人に作品の触覚シートを提供。	毎年、博物館では、職業センターや特殊教育学校のグループを対象としたアクセシビリティワークショップを提供。
国立考古学博物館 (年間来場者不明)	バーチャルツアー 言語訳付ガイドツアー 音声ガイド付ツアー	視覚障がい者専用 聴覚障がい者専用 特別な支援必要者専用	復元作品触察ツアー(水曜日・土曜日開催)、音声ガイドツアー、光や音に敏感な人のツアー	現在実施は10種類	有	2クリック	車いす、折りたたみいす、機器ガイド、磁気ループ、触覚作品	スロープ設置。	マルチメディアガイドや磁気ループの貸出。	点字による館内マップ。	無
国立ロマンティシム美術館 (年間来場者不明)	バーチャルツアー 音声ガイド付ツアー	無	無	現在実施は2種類	有	2クリック	車いす、磁気ループ	館内には車いす用のEVがある、車いす貸出しサービス、体の不自由な方は最大1名まで入場無料。	磁気ループ貸出あり、博物館主催の活動に利用できる4つの個別の磁気ループがある。	磁気ループ等の貸出がある。	ピクトグラム付きミュージアムガイド、オブジェクトの用語集等の情報。
セルボ美術館 (年間来場者8万人)	バーチャルツアー ボランティアによるガイド付ツアー	無	無	現在実施は1種類	有	2クリック	車いす、音声ガイド、ベビーカー、磁気ループ	階段昇降機へアクセスできる、車いすの貸出しサービス、体の不自由な方は最大1名まで入場できる等の情報。	手話通訳ガイド付ツアー、オーディオガイドやガイド付ツアーのサイゼルのためのポータブル磁気ループがある。	点字で記載された博物館の触地図、博物館の触地図にはQRコードがあり、視覚的及び音声形式で情報が提供。	読みやすいガイドブック、ピクトグラム付の読書ガイド、YouTubeで美術館についての簡易的な説明動画がある。
アメリカ博物館 (年間来場者不明)	バーチャルツアー ボランティアによるガイド付ツアー 手話付ガイドツアー	無	無	現在実施は約20種	有	2クリック	電動車いす、ガイドマップ	スロープ	常設されている館内マップに展示がされている。	無	無
サンフェルナンド王立芸術アカデミー (年間来場者不明)	ガイド付きグループツアー	無	無	約5種類 現在実施は1種類	無	無	掲載されていない	スロープ	無	無	無
スペイン国立図書館 (登録者11万人)	音声ガイド付ツアー	無	無	現在実施は2種類	無	2クリック	車いす貸出	歩行困難者はEVを利用できる。EV・階段利用できない場合、職員が同伴対応。	磁気ループカラーがあり、聴覚器使用者がサウンド・ビジュアルコレクションを参照できる。	点字図書、オーディオブック等あらゆる種類の録音のコレクションがある。ラジオ収録やスピーチを含む言葉のアーカイブがある。	無
マドリード王宮 (年間来場200万人)	音声ガイド付ツアー ガイド付グループツアー	無	無	2種類	有	1クリック	車いす貸出、磁気ループ	スロープ、昇降機	事前に連絡することで、手話通訳を頼むことが可能。	磁気ループ貸出	無
ラサロガルディアノ美術館 (年間来場者不明)	ボランティアガイド付ツアー	視覚障がい者専用	音声ガイドと触覚シートツアー	現在実施は5種類	有	1クリック	車いす貸出、盲導犬同伴、ガイドマップ、音声ガイド	EVやスロープ、バリアフリートイレ等のドア幅の寸法・各部位高さ情報を掲載。	EVでは出入口方向、階数表示、緊急呼び出しボタンがある。	博物館の各フロアとそれに対応する展示をリストした情報シートがある。	無
バルセロナ歴史博物館 (年間来場者不明)	ボランティアガイド付ツアー	知的障がい者専用	事前予約による知的障がい者を含むグループツアー	現在実施は11種類	無	2クリック	車いす貸出、盲導犬同伴、機器ガイド、点字パンフレット	スロープ、エレベーター、バリアフリートイレ	点字のパンフレットが貸し出されている。	機器ガイド、盲導犬同伴	無
カサ・デ・アメリカ (年間来場者不明)	団体向けガイドツアー (最大30名)	無	無	現在実施は1種類	無	2クリック	掲載されていない	無	無	無	無
王立劇場(ロイヤルシアター) (年間来場者不明)	オーディオガイド付ツアー 言語訳付ガイドツアー	無	無	現在実施は2種類	無	2クリック	車いす貸出、盲導犬の同伴	車いす使用者が利用できるアクセシブル情報(スロープ、昇降台)等が掲載されている。	聴覚障がい者向け情報が多く、無料サービスや補聴器を装着してより高品質な音楽を聴くことができる工夫がなされている。	機器ガイド	無
王立植物園 (年間来場者不明)	盆栽コレクション付ガイドツアー	視覚障がい者専用 聴覚障がい者専用 自閉スペクトラム症専用	視覚障がい者: 植物を嗅覚・触察ツアー 聴覚障がい者: 手話通訳ツアー 参加者・職員が協力し、生き物探訪交流ツアー	現在実施は5種	有	2クリック	掲載されていない	車いす使用者が園内にアクセスしやすいようにスロープの場所が写真と共に掲載されており、アクセシビリティマップも掲載されている。	手話によるテーマ付きガイドツアーがあり、無料サービスの提供が掲載されている。	機器ガイド	ワークショップを通して、自然の生き物と府触れ合いつつ感性を養っていくプログラムがある。